

自動車安全装置 メーカー Autoliv の紹介

2022 年 5 月 16 日

営業技術部 樹脂営業技術課

荒木

皆様、日頃の営業技術課に関わる業務に御協力頂き、誠にありがとうございます。

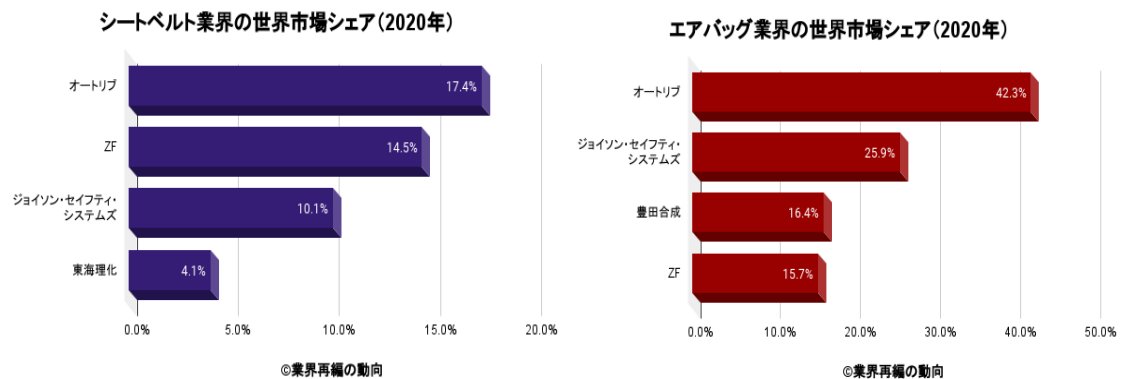
5 月 1 日より、第62期がスタートしました。ここ2年はコロナ禍の影響もあり、業務においても、また日常生活においても様々な変化や制約等を強いられて来たかと思います。一方、最近では With コロナへ向けて隔離時間の緩和や行動制限の緩和等、人の動きの規制を緩和する動きも見られます。今回のGWは、その様な動きの中で始まりましたが、皆様リフレッシュされましたか？

ところで、人の移動に伴い活躍するのが自動車ですが、人が安全に自動車を利用する為に、自動車には様々な安全装置が設置されています。その自動車の安全装置とは、どのようなものがあるのでしょうか。

自動車の安全装置は大きく分けて①パッシブセーフティ と ②アクティブセーフティがあります。①パッシブセーフティの代表はSRSエアバック、3点シートベルト、チャイルドシート、衝撃吸収ボディ等、②アクティブセーフティの代表は ABS(アンチブロック・ブレーキシステム)、ESC(横滑り防止システム)、ACC(全車速域定速走行・車間距離制御装置)、CMBS(衝突被害軽減ブレーキ)、誤発進抑制機能等があります。古くはパッシブセーフティの装着から始まり、技術の進歩に伴ってアクティブセーフティ装置が開発され、現在の安全管理と繋がっています。



パッシブセーフティの歴史は古く、3点シートベルトは 1959 年 Volvo によって開発されました。またエアバックは 1973 年 アメリカ合衆国において初めて実用化されました。そして、現在それらの世界シェアトップを占めているのが、Autoliv です。



現在私は営業技術課の課員として、Autoliv 様の担当をさせて頂いておりますので、Autoliv 様の紹介をここでさせて頂こうと思います。

Autoliv 社は本社をスウェーデンに置く、Global Company です。

1953 年に Lindblads Autoservice として設立され、1956 年に腰回りの 2 点固定式シートベルトの製造を開始、その3年後の 1959 年には世界初の 3 点式シートベルトを Volvo 社へのサプライヤーとして生産開始しました。

現在ではパッシブセーフティ部品をメインとして扱っており、上記の通りエアバック(ステアリングホイール(以後 SW)を含む)とシートベルトでは世界1位のシェアを誇ります。

また、27 カ国に事業所を持ち、研究開発拠点も 14 カ所を有します。



柿原工業では、その内 Autoliv Japan 様とお取引させて頂いており、現在では Siam Kakihara と Autoliv Thailand 様とのお取引も始まりました。

当社で生産させて頂いている製品は SW GARNISH という加飾部品ですが、安全装置メーカー様だけあり製品に対する要求は細かく、皆様にも多大なるご協力を頂いており、この場を借りてお礼申し上げます。

一方で Autoliv 様は Global Company であり、当社は各国の Autoliv 様と取引をする機会を得ることが出来ます。これまでも日本に限らず、韓国・中国・タイ・マレーシア・アメリカ・メキシコ等から当社へ直接コンタクト頂き、各国の購買担当者が当社へ見学にも来られる等、柿原工業の国際化への道筋を描くことの出来るお客様の一つです。

これからも引き続き半導体不足やコロナ禍の影響による減産、また当社の新規受注に対してより厳しい国内・国外間競争が予想されますが、Kakihara group の力を結集し、向かう荒波を乗り越え、皆さんの仕事、生活、更には人生が Happy になる様がんばりましょう！